



こども俳句「こいのぼり」

“♪屋根より高いこいのぼり～” 4月の半ばを過ぎると、保育園でも、こいのぼりの歌をうたいながらこいのぼりをあげます。青いお空を見上げながらみんな元気がいっぱいです。

「こいのぼり お空のわたあめ たべている」

お祭りのわたあめはこどもたちの夢、お空の白い雲がわたあめに見えたのでしょうか。こいのぼりもよるこんでいることでしょうか。

「かぜふいて でんぐりがえし こいのぼり」

お空を泳ぐこいのぼりをうれしそうに見上げていたのでしょうか。こいのぼりの動きをよくとらえましたね。本人もでんぐりがえしできるのかな。

ふるさとCM大賞
作品募集

白鷹町の魅力を15秒間で紹介するCM作品を募集します。

▼募集内容 町の特徴を表現した未発表のCM作品

▼参加資格 どなたでもかまいません。(個人・団体問わず)

▼応募方法 企画書(シナリオ、製作のスケジュールなど簡潔にまとめたもの)を6月14日(金)まで提出してください。

企画書の段階で、総務課企画室情報係にて審査を行い採用作品を決定します。

▼作品製作期限 10月11日(金)

▼賞金など ○採用作品に5万円を贈呈

▼その他 ○著作権・個人情報保護法などに抵触しない作品に限ります。

○応募作品の著作権は、町に帰属させていただきます。

○採用作品は、第13回山形ふるさとCM大賞に出品予定です。

■申込・問い合わせ 総務課 企画室情報係

☎85-6121

川柳友の会よりお知らせ



川柳友の会では、町報川柳について以下のように変更することにしました。

*はがきに、ひとり一句を秀句(自信作)として投句してください。

*佳作、秀作、五客、三才をなくし、川柳の紹介として掲載します。

*投句先は、白鷹町大字荒砥甲833番地 白鷹町役場総務課企画室情報係 宛 とします。

なお、次回5月25日までは今まで同様とし、6月25日までの投句より変更とします。

町報川柳友の会 代表 高橋白兔

町報川柳 「春」 高橋白兔 選

佳作	雪解けて春風吹いて梅咲いて 人生の春は終わった八十路	山口 児玉 保子
〃	桜見ず宴もせず友去りし	横須賀 大滝健次郎
〃	水ぬるみ花咲く春がもうすぐに	武蔵野 池田 武子
〃	春彼岸線香あげに里帰り	ふじみ野 村上 桂造
〃	芽吹きから明日の我が身に活をみる	箕和田 鈴木 トミ
〃	四季の幸響く太鼓の春まつり	箕和田 土屋 平敏
〃	春ですね見たい景色はどこですか	荒砥甲 丸山 直志
〃	それぞれ別れと出会い運ぶ春	浅立 梅津美千子
〃	北国は春になっても雪が降る	滝野 海老名さち
〃	春一番セットの髪も逆立ちし	世田谷 糸 マサ
〃	春なんて名ばかり外は雪の山	高玉 金田 コト
〃	豪雪も踏む雪音が春を告げ	長井 平 歎進
〃	春一番両手を広げ深呼吸	畔藤 菅原 敦子
〃	春雷の軟らかな音春を告げ	高玉 片山 時美
〃	春がすみ香り競いし沈丁花	横須賀 勝見満里子
〃	芽吹く春じっと待ってる大自然	佐野原 五十嵐あきよ
〃	踏む雪も春の調べを醸し出す	山口 石川與次衛門
〃	芽吹く音春のとびらを開ける音	十王 守谷 三郎
〃	中国の空が気になる春霞	貝生 土谷 灯一
〃	早春の香り楽しむふきのとう	高玉 高橋 朝子
〃	窓越しに小鳥さえずり春を告げ	佐野原 五十嵐とし
〃	春風に乗って値上げがやってくる	荒砥甲 井澤美佐子
〃	遅刻した春がスピードあげて来る	山口 渡部喜美子
〃	春日和ねたむか今宵の名残雪	浅立 高橋 とみ
〃	豪雪も解かした春のエネルギー	鮎貝 植木 英夫
〃	働ける喜び春の陽は温い	大瀬 五十公野春己
〃	泣かされるドラマもあつた春の雨	貝生 保科 努
地位	風靡く父の命日春彼岸	町田市 保高 悦子
天位	豪雪に耐えた笑顔で北の春	箕和田 土屋 三歩
軸	菜種蒔く春の大地をうたがわず	白兔

次回「平」五月二十五日まで。白鷹町荒砥乙四二八―二 高橋白兔 宛
「しとしと」六月二十五日まで。白鷹町役場総務課企画室情報係 宛